

(17)  
ド欽  
ミ馬  
力

1015

S 1.6.1.1-10 319

REEL No. A-0724

0225

アジア歴史資料センター

寫送先

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 儀典 文書 會計 秘書官

大臣 次官

電信課長

1015

昭和15 一四九六八 暗

ハバナ 五月二十九日後發 三十日前着

米、亞

有田外務大臣

南條代理公使

第三二號

在伯大使宛電第四三號ニ關シ（新中央政權ニ對スル中南米諸國ノ態度ニ關スル件）

玖馬政府ハ對米對内關係ヨリ從來通り重慶政府ト正式外交關係ヲ維持スルコトハ重要ナルモ目下ノ所進ンテ南京政府不承認ノ行動ヲ採ル程ノ興味ハ無キ模様ナリ

「ドミニカ」共和國ハ目下親交アル有力筋（「ログローニヨ」氏）

ヲ通シ内探中ナルカ同國モ本件ノ如キハ頗ル迷惑ノ模様ニテ本年三

外務省

S 1.6.1.1-10

320

1015

昭和15 八九六二 （暗）

羅馬 四月六日後發 七日前着

天羽大使

有田外務大臣

第三一〇號ノ一（極祕）

往電第七五號ニ關シ

其ノ後ノ情勢大體左ノ通り

（一）「ブレンネル」後獨伊同盟ハ強化セラレ從來動モスレハ抱カレタル伊カ英佛側ニ立チテ參戰セサルヤトノ疑惑ハ拂拭セラレタルノ感アルカ更ニ伊太利政府ハ最近佛瑞獨及「ユーゴスラビヤ」トノ國境一帯ニ亘ル防備ヲ完成シ（三月十二日下院ニ於ケル「ソツド」陸軍次官ノ報告）又ハ戰時體制ヲ強化（四月二日閣議決定ニ依リ婦人及十三歳以上ノ男子ノ戰時動員法案並ニ鐵柵ノ強制徵收法案等）シ國民ノ緊張ヲ計リシモ他方財政狀態（例ヘハ昨年迄五箇年ノ歳出超過總額五百五十億「リラ」公債發行總額ハ公表セラ

外務省

（日本標準規格B5）

S 1.6.1.1-10

321

REEL No. A-0724

0226

アジア歴史資料センター

令參戰スルモ右ハ切端詰リシ時乃至勝利ノ見透付キタル場合ナル  
ヘシト見受ケラル（續ク）

外  
務  
省

レサルモ千六百億「リラ」ト算定セラル「日發表ノ伊太利銀行ノ  
年次報告書ニ依レハ金準備約三十一億「リラ」紙幣流通額約二百  
二十億ナルカ前記公債發行額及物價騰貴ノ現狀ヨリ實際ノ流通額  
ハ右以上ト察セラル」物資補給狀態（食料及衣服ハ大體自給シ得  
ルモ鑛產物ノ產出ハ平時需要ノ約一割九分ニシテ石炭、鐵、石油  
銅等重要原料ハ產出セス又輸入總額ノ約七割ハ「スエズ」「ジブ  
ラルタル」ヲ經由ス」防備ノ脆弱性（北方平原及半島ノ海岸線防  
衛竝ニ「エチオピア」及其ノ他阿弗利加植民地防衛）等ノ爲ニ當  
國ノ狀態ハ長期ノ戰爭ニ適セス又國民ハ參戰ノ氣分無キヤニ認メ  
ラル（伊太利ノ脆弱性ニ關スル外國側ノ批評ハ伊太利ノ最モ好マ  
サル所ニシテ例ヘハ過日紐育「タイムズ」ノ批評ニ對シ四月一日  
「ガイド」ハ詳細ニ之ヲ反駁セリ）  
彼此綜合スルニ伊太利ハ過般獨逸トノ間ニ「ノンペリヂエランス」  
ヲ變ヘサルコトヲ確認セラレタルカ出來得ル限り現狀ヲ維持シ假

外  
務  
省

(日本標準規格B5)

1015

昭和15 八九六〇 (暗)

羅馬 四月六日後發  
本省 七日後着

有田外務大臣

天羽大使

第三一〇號ノ二

ニ獨逸ハ一方伊太利他方蘇聯邦ト特殊ノ關係ヲ結ビ此ノ兩大中立國  
ヲ後方兵站ト和議促進トニ利用セントシ更ニ進シ伊蘇ノ提携ニ  
努ムルモ此ノ點ハ思フ様ニ行カサルカ如シ(昨年四、五月頃「ム  
ツソリニ」ハ「ヒットラー」ニ對シテ其ノ對蘇政策ノ緩和ヲ勸メ  
タルカ今ヤ其ノ地位全ク顛倒セリ)元來伊蘇兩國ハ國家ノ基礎ヲ  
異ニスルカ兩國ハ直接國境ヲ接セス其ノ關係ハ間接ナルヲ以テ蘇  
聯邦カ巴爾幹ニ進出セサル限り伊太利トハ直接ニ衝突セス故ニ伊  
蘇關係ハ蘇聯邦ノ出方如何ニ依ルコト多キヲ以テ獨逸ハ巴爾幹ノ  
平和維持ト伊蘇接近トヲ考慮シテ蘇聯邦ニ對シ巴爾幹進出ヲ暫ク  
止メンコトヲ勸メ同時ニ伊太利ニ對シテハ反蘇方針ノ緩和ヲ勸メ

外務省

(日本標準規格B5)

S 1.6.1.1-10

324

1015

居リ最近伊蘇關係ハ少クトモ表面ハ多少緩和セラレタル氣味アル  
モ獨蘇伊三國間ニ巴爾幹ニ關スル何等カノ協定成立シタルモノト  
ハ思ハレス又伊蘇兩國ノ根本關係ニ於テハ變リナキコトハ屢次ノ  
電報ニテ御推察ノ通りナリ唯國際關係急變ノ可能性アル今日ニ於  
テハ兩國ノ關係ニ付テハ今後共深甚ナル注意ヲ要スヘシ  
ニ支那問題ニ付テハ獨伊協調シ居ラサルハ支那新政府承認ニ對スル  
兩國ノ態度ニ見ルモ明カナルカ惟フニ獨逸ハ蘇聯邦ヲ歐洲方面ニ  
於テ利用セントスル代リニ支那問題ニ付テハ蘇聯邦ニ牽制セラ  
ルコトモアルヘク之ニ反シ伊太利ハ獨蘇トハ全然自由ノ立場ニ於  
テ獨自ノ政策ヲ遂行スルカ一面日本ノ英米ニ對スル態度ヲ警戒シ  
ツツ「チアノ」ト汪精衛トノ個人的關係ヲ活用シ(往年ノ「チア  
ノ」張學良關係ノ如ク)支那ニ進出セントスル様子アルハ之亦屢  
次ノ電報ニテ御推察ノ通りナリ(續ク)

外務省

(日本標準規格B5)

S 1.6.1.1-10

325

REEL No. A-0724

0228

アジア歴史資料センター

1015

間ニ懇切ナル祝電交換セラレタリ但シ伊太利ノ政策ハ目下ノ國際情勢ニ鑑ミ防共ノ「イデオロギー」ヨリモ寧ロ實際的ニ動キ居ルヤニ認メラル

五、巴爾幹ニ對スル伊太利ノ根本政策ハ「アルバニヤ」ニ基地ヲ置キテ勢力ノ擴張ヲ計リ内實ハ「ユーゴスラビヤ」ノ分解ヲ目指スモ（客年往電第五〇〇號參照）時期尙到ラサルモノアリ現在トシテハ（イ）巴爾幹諸國カ「ブロック」ヲ形成シテ團結スルコトヲ防クコト（ロ）「ユーゴスラビヤ」カ伊太利以外ノ強大國ノ支配下ニ置カレサルコト（ハ）巴爾幹各國ト個々ニ友好關係ヲ進メ各國ヲ對立關係ニ置クコト（ニ）洪牙利トハ特殊關係ヲ維持シ其ノ國境改訂ニ對スル要望ヲ支持シテ蘇獨ニ對スル防壁タラシメントスルモ今直ニ此ノ要望ヲ持出ストキハ巴爾幹ヲ亂ス惧アルカ故ニ當分差控フルコト（ホ）巴爾幹ニ於テハ努メテ平和ヲ維持スルコト等ノ方針ノ下ニ動キ居リ從テ洪牙利トノ特殊關係ヲ強化スルニ努ムルハ勿論「ユー

外務省

(日本標準規格B5)

S 1.6.1.1-10

327

1015

昭和15 八九五五 (暗)

羅馬 四月六日後發  
本省 七日後着

天羽大使

第三一〇號ノ三 (極秘)

四、伊太利ハ獨逸トハ同盟關係ヲ變ヘサルモ英佛米ニ對シテハ經濟關係、平和協議參加希望又ハ阿弗利加、地中海ニ於ケル宿望達成(地中海ニ付テハ「ガイダ」ハ頻リニ伊太利ハ地中海ノ制覇ヲ望ムモノニアラス英佛トノ「バリチー」ヲ求ムルニ過キサル旨論シ居レリ)等ノ重要ナル問題ヲ有スルヲ以テ英佛ニ對シテハ其ノ要求ヲ主張スルト共ニ其ノ關係ヲ惡化セサルニ注意シ米國ニ對シテハ友好關係ノ増進ニ努メ英佛又伊太利ニ對シテハ硬軟ノ政策ヲ交々用好關係ノ抱込ミニ腐心シ居ルモノノ如シ伊太利ハ西班牙ニ對シテハ特殊關係ヲ強化シテ飽迄援助ノ收穫ヲ保持進展セントシ例ヘハ四日西班牙獨立一週年記念ニ際シテハ「ムツソリニ」「フラン

外務省

ゴースラビヤ」トハ三月二十五日「ベルグラード」協定成立三周年祝賀、羅馬尼トハ青年黨々主「シドルヴィツチ」ノ來訪歡迎（二月中旬）三月二十日通商協定締結、勃牙利トハ客年十一月附屬通商條約締結、希トハ客年九月公文交換アリ土耳其トモ本年二月二十四日通商協定成立シタル外「ボツトル」文部大臣ヲ首腦トスル文化使節勃牙利、「ユーゴースラビヤ」其ノ他ヲ屢々訪問シ又各國トノ通商關係及友好關係ノ増進ニ努メ居レリ  
米、在歐洲各大使、壽府へ轉電セリ

外務省

(日本標準規格B5)

S 1.6.1.1-10

328

REEL No. A-0724

0230

アジア歴史資料センター



月在當地支那公使同國兼任信任狀捧呈ノ爲同國ニ出張セル際ノ話合  
ノ結果ヲ同公使カ重慶ニ打電セルモノト見ラル尙當地「ド」公使ハ  
昨年末ヨリ本國政府ノ内訓ニ依リ支那公使ノ「ド」訪問ヲ阻止シ來  
リタルカ遂ニ斷リ切レサリシ趣ヲ語レリ右ハ對米關係上支那公使ノ  
來ル以上何トカ挨拶ノ必要ヲ生スルヲ迷惑カリタルニ依ル由ナリ  
追テ四月二十九日附「ド」國官報ハ大統領令第六四四號ニテ同國外  
務大臣ニ支那共和國トノ間ニ締結セル友好條約ニ政府ノ名ニ於テ署  
名セシムル件ヲ公布セルカ何等本文ノ公表無ク目下右入手方手配中  
ナリ  
米ニ暗送セリ

外  
務  
省

S 1.6.1.1-10

329